



各地で起こる自然災害、米

価格の高騰、突然の国政選挙など、何かと落ち着かない令和七年度でしたが、永久津小では子どもたちの頑張りと保護者や地域の皆さんのおかげで、年度末の大きな節目を迎えようとしています。

本校の永い歴史の上では特別な一年というわけではありませんが、こうして積み重ねる「伝統」の重みを子どもたちと一緒に考える機会としたいと思います。

令和七年度卒業生は十名。次年度の新入学児童は二名の予定です。近年、小さな増減を繰り返しながら、児童数の減少が確実に進んでいますが、今後中学校とともに、地域づくりの核として、みなさんから大切にされる学校を目指していきます。

本年度の御協力と御支援に心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

## 寸草春暉 (すんそうしゆんき)

「寸草」(すんそう)とは丈の短い草。「春暉」(しゆんき)は春の温かい日差しのこと。中国の古い書物にある言葉で、親の深い愛情(春暉)に子どもが応えようとする気持ちを小さな野の草にたとえたものです。

卒業や修了を迎え、保護者の皆さんもお子さんの成長を感慨深く受け止めておられることでしょう。親の恩に形で報いるには小学生はまだ幼いですが、無事に一年間を過ごして来たことが何よりの恩返しということでしょうか。

成長の速さは一人一人違い、できるようになったことが隣の子どもと違うのも当たり前です。他人が言うものさしを当てる必要ありません。この年度末の節目を機に、お子さんの一年前と今の姿を見つめなおし、心身の成長と頑張りをお子で喜び合う時間を作ってください。

「毎月各戸鶏卵二個集めて貯金し(中略)学校設備費の助成をした。」との記述を見付

けた。本校が創立以来の長きに渡って地域の深い愛情に支えられ、そして、今もなお、その熱い思いが受け継がれていることに驚きます。

### 年年歳歳 花相似たり 歳歳年年 人同じからず

も、背丈が伸びるのと同じように、背丈が伸びるのと同じように、成長してきました。中学生に桜は、今年もまた卒業や入学を祝うように咲き始めました。一方、それを見上げる人の姿は、毎年入れ替わっていきつぱり同級生です。永久津小で

「学校の花」でもある校庭の桜は、今年もまた卒業や入学を祝うように咲き始めました。一方、それを見上げる人の姿は、毎年入れ替わっていきつぱり同級生です。永久津小で

つぱり同級生です。永久津小で一緒に学んだ仲間として、紡いできた絆をいつまでも大切にしたいと思えます。また、本年度も永久津校区教

育振興会や永久津いきいき協会の皆様には、物心両面にわかなかつたことを変えるチャンスでもあります。創立百周年記念誌(昭和四九年

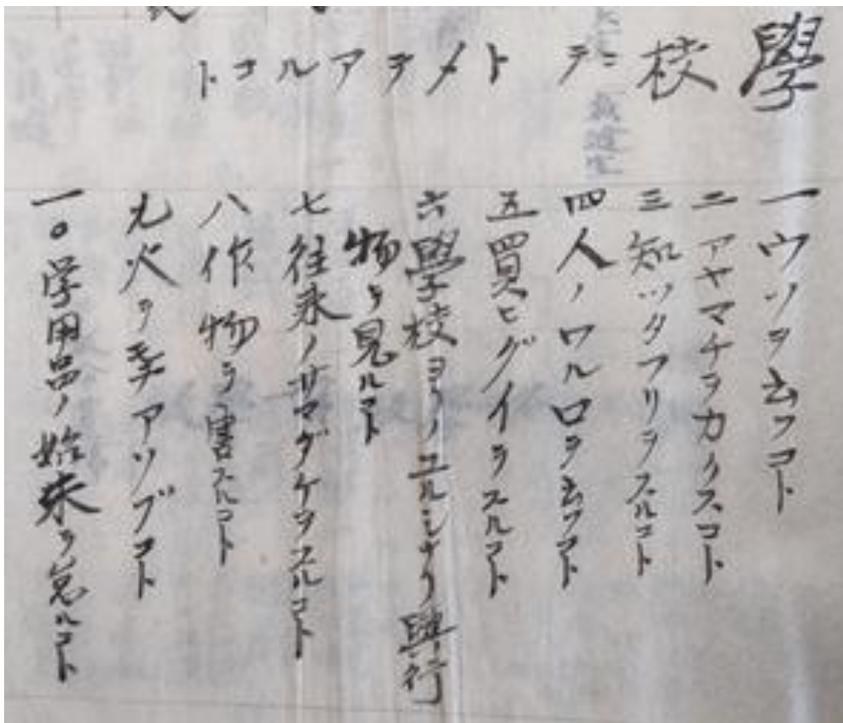
## 頭上注意

学校の樹木が、強い雨や風でその枝を落とすことがあります。手を加えるには、しばらく時間がかかるようですので、特に、道路沿いの高い木のそばを通りかかる際にはご注意ください。(子どもたちの登下校については、別途指導しております。)

# 学校近況スナップ

## 「昔の教え」

永久津小学校の大正時代の資料に興味深いものを見付けました。



學校壹覽表

大正貳年度  
永久津尋常小学校

- 学校にてとめてある (してはいけない) こと
- 一 うそをいうこと
  - 二 あやまちをかくすこと
  - 三 知ったふりをすること
  - 四 人のわる口をいうこと
  - 五 買い食いをすること
  - 六 学校よりのゆるしなく  
興行物を見ること
  - 七 往來の妨げをすること
  - 八 作物を害すること
  - 九 火をもちあそぶこと
  - 十 学用品の始末を怠ること

時代を感じるものもありますが、尊い教えは百年以上たっても変わらないものだと感じます。大正の子どもたちもこれで叱られていたのでしょうか…。

校長の勝手な思いを綴りました校長通信「時計台」に一年間お付き合いいただき、誠にありがとうございました。